



映画評 「プリズン・サークル」（3ページで紹介）



- ✎ 天国への階段（三） 吾輩は猫である
- ✎ 映画評「プリズン・サークル」
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介  
「こどもの日」に困んだマンガ
- ✎ **新連載** わたしの闘病日記  
「身体中で一番新しい関節に感謝」（1）
- ✎ 秀作エッセイ 南方熊楠に思う
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ なんちゃって農業女子(笑) 2
- ✎ イベント紹介 ✎ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）



「天国への階段」(三)

鶴島緋沙子

吾輩は猫である

日課になっているウォーキングに出掛ける。なんて言うほど大げさなものではない。移り住んでから、かれこれ四〇年になる大阪府枚方市は奈良県と京都府に接する山の手の住宅地。その外郭をぐるりと歩いて回るだけの事である。

ああ、何だか足がだるいな。雨が降りそうだな。なんて都合のよい理屈をつけて休もうとしている自分を叱咤激励して今日も出掛ける八十六歳の婆さんの、あてにならない根性。歳を訊かれた時の嘘が真か

「お若いですねぇ」と返ってくるその言葉がききたいばかりに足を速める。

南公園と名付けられたささやかな公園の風下がり、使い手の来ない滑り台とブランコが、退屈凌ぎだろうか、散り始めた桜の花びらの受け手になっている。

束の間のこの時期。そんな季節を八十六回も過ごしてきたのかとふと涙ぐみそうになる。父母や姉や夫も待ってくれているだろう天国への階段は、さて、あと幾つ? なんて思いながら歩いていると、  
「あ、いた!」今日もいた。

とある家とガレージの隙間からのそのそと姿を現し、用心深く左右を見、最後に私の顔をその老獪な目で一瞥し、「ああ、こいつか」と言わんばかりの尊大な態度で私の前をゆくり横切る。最後にもう一度私を威嚇するように睨み、別の家の横丁に姿を消す。堂々たる老猫である。野良猫集団の親分でもあろうか。

昔、昔、その昔、おかっぱを振り振り毬つきをしていた頃、私も猫を飼っていた。どんな所以で家に来たのか、今では定かではないが、こげ茶色の三毛猫で「エミ」と名付け、可愛がっていた。いつも机に向かっていた旧制中学校時代の数学教師だった着物姿の父の膝で、丸くなっていったエミの姿が目には浮かび、またもや、じんわり。

涙もろくなった私。天国への階段が目の前に……

いやいやまだまだ。我が文学の師、瀬戸内寂聴先生が百歳を前にして週に一度大手新聞に随筆を書いていらっしやる。コンビニで買った

れては、自称一番弟子の私の名が廃る。天国への階段に掛けた足をおもむろに降ろし、五月晴れの空を見上げる。心なしかどこかすっきりしない。コロナ禍が収まらないせいだ。日本、特に大阪では増えている。

そんな時期、外出自粛のメッセージを出している当の政府の要人たちの食事会のニュースが報じられた。

ああ、この時期、「吾輩は猫になりたい」それも思いっきり自由な野良猫に。



鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校III」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。『トミーの夕陽』がまた昇る『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐら』の目など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

## 映画評「プリズン・サークル」

監督の坂上香さんとは、死刑廃止運動がきっかけで、結構前からの知り合いです。彼女から「刑務所に通って映画を撮っている」と聞かされてから、かなりの時間が経ちました。HPを見てみると、「撮影許可まで6年、撮影2年」と書かれていて、この映画が完成するまでに、数多くのハードルを越えてきたのだらうなということが覗えます。「島根あさひ社会復帰促進センター」という官民共同の新しい刑務所を舞台として、TC（Therapeutic Community＝回復共同体）というプログラムを受講する四人の若者たちの姿が描かれています。

映画の舞台は刑務所であり、描かれているのは、服役している人たちですが、この映画の重要な点は、そのような「特殊な」人々を描いたことではありません。TCでは、受講生同士の対話が重視されています。まさに輪（サークル）になってお互いが自分自身のことを語り、それを聞く他の受講生たちは、時に受容的に耳を傾け、時に厳しく疑問を呈していきます。しかし、その場が支配・被支配の関係ではなく、同じような立場の者同士がお互いを認め合いつつ集っている場だと気付いた受講生は、その厳しい問いかけにも誠実に対応し、少しずつ変わり始めていきます。それまで誰にも言えなかった自分の過去について語りだすのですが、彼らはほぼ例外なくすさまじい虐待を受けて育ってきています。それをさらりと語る言葉の重さに、私たちは圧倒されるのです。

特に印象的なのは、ある受講生が起こした事件について、ロールプレイによって振り返るシーンです。他の受講生が被害者や関係者役を演じ、本人と言葉を交わします。本人が思わず言葉に詰まり、涙を流す場面では、「その涙は何の涙ですか」と、妥協のない問いが飛ぶのですが、しかしそれは、相手を追い詰めるためのものではなく、事実と向き合えない本人を励ます言葉のように感じます。もう一步、あと少し勇気を出して、自分自身と、事実と向き合えと励ます応援歌のように。

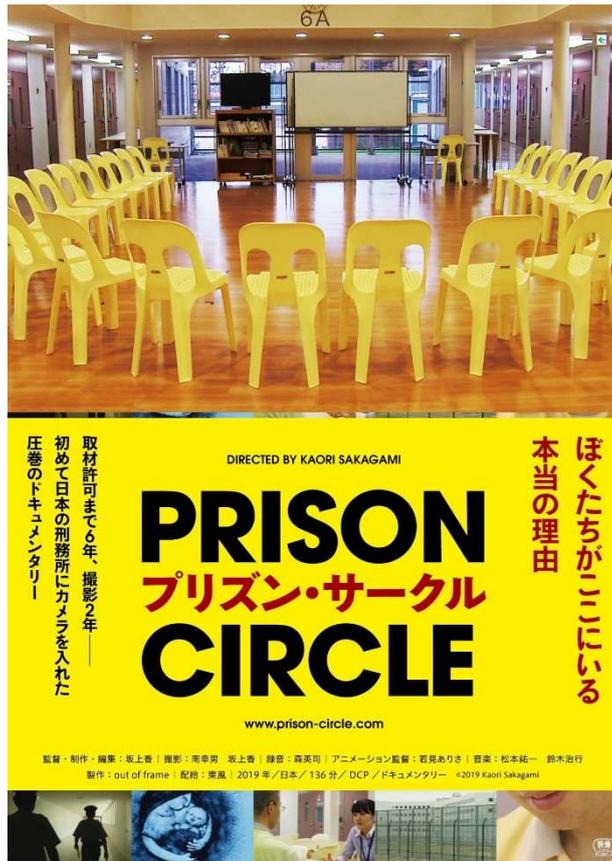
人は一人では変わらない生き物なのではないでしょうか。罪を犯した人たちは、取り調べの間、あるいは裁判の間は、自分を守るのに必死で、反

省や被害者への謝罪の気持ちを持つ余裕などはないといいます。それが、「島根あさひ」のTCというプログラムを体験する中で、やっと少しずつ、過去を振り返る余裕と勇気を得るのです。

その意味で、この映画は特殊な場にいる特殊な人々を描いたものではなく、この社会に住む私たち全員が共有する課題を描き、その課題と向き合うことの大切さを教えてくれる映画だと言えるでしょう。そしてその、「誰でも変わりうるのだ」ということは、今を生きる私たち全員にとっての希望なのではないでしょうか。

（牧口誠司）

※掲載許可写真を使わせてもらってます（編集局）



## STEMz マンガ文庫 蔵書紹介 「こどもの日」に因んだマンガ

5月といえばゴールデンウィーク！そして、こどもの日ですね！こどもの日とは、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」とあります。

こどもたちのこども時代を大切に見守ってあげたい。常になんてできないけど、ふと思った時に、何かのキッカケを感じた時に。こどもが手の届くところにいる時期なんて、きっとあっという間に過ぎてしまうだろうな、と思いながら選書しました。

### ◆ 乱と灰色の世界 ◆ 著:入江亜紀 全7巻

魔法使いの一家に生まれた小学生の少女漆間乱(うるまらん)が、大人に変身する魔法を使って様々な騒動を起こしながら成長していく物語。並行して、人間社会に迫る脅威と魔法使いたちの暗闘というシビアな世界も描かれています。



とにかくハッピーでドタバタなファンタジーと思いきや、大人になりたかった魔法少女の乱が成長することの意味を知る過程に心が揺さぶられます。成長は変化であり、選択。こどもの頃に何を考えて過ごしていたかなあと、昔の記憶を辿りたくなる、そんな作品です。

### ◆ 銀河の死なない子供たちへ ◆ 著:施川ユウキ 全2巻

とうに人類が滅亡した星で、ラップを口ずさむのが大好きな天真爛漫な姉・π(パイ)と、いつも読書をしている内向的な弟・マツキは、永遠の命による終わらない日々を過ごしていた。そんなある日、愛すべきものの終わりに直面した二人は……。不死の子供たちの果てしない日常と、途方もない探求の旅――。



何があっても死ぬことはない、食事も睡眠も2人にとってはどうでもいいこと。膨大な時間の中で、2人が命あるものの儚さ、亡くした悲しみ、辛さを知り、命の尊さや、「死ぬ」ことの意味を彼らなりに考えます。どれだけ長い時間が過ぎても「こども」であり続ける2人が選んだ選択とは？

「今」、あらゆる瞬間がいとおいしい。家族愛ってなんだっけ？と考えさせられる物語です。

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)  
[STEMz マンガ文庫で検索!]

## わたしの闘病日記 「身体中で一番新しい関節に感謝」(1)

2017年7月に股関節の人工関節置換手術を受け、その後3回脱臼してしまい、2019年11月に再手術を受けた私のお話を聞いてください。

痛みに悩まされ、でも手術は心配という方が多くおられると思います。私の経験を参考にさせていただき、今後どうされるかの参考になれば幸いです。

2012年頃から右足股関節が時々痛み出し、近くの整形外科を受診したところ「変形性股関節症」で、最終的に人工関節置換手術が必要になるとの診断を受けました。

そこでセカンドオピニオンを希望し、市内の大学病院を紹介していただきました。結果は同じで「股関節には体重の約5倍の負荷がかかる場合があるので、体重を少し減らすこと」「まだ手術には早いので、様子を見る」という話になり、1年後の予約をしました。

その後は痛んだり、なんも感じなかったりの数年でした。受診は年1回。

初受診から4年過ぎ頃から痛みが増しだし、歩くのも辛く、車の乗り降り、買い物も辛い、最も辛かったのは痛みで夜眠れない事です(夜間痛というそうです)。トイレの便座に座るのも辛い状態、さらに寝返りも痛くてできず、朝方まで唸って、痛みどめのロキソニンを飲みながら仕事へ行くという状態になりました。

定期診察で手術の時期がきましたねと伝えられ正直この痛みから解放されると「ホッ」としたのを覚えています。

仕事で長期間休める時期を選び手術日を決めました。

文・「枚方在住のおっちょこちよい」

## 南方熊楠に思う

小野田 耕士

数日前、通っている高齢者大学の本年度クラスの修了式と成果発表会がありました。

終了クラスの名前は、「自然文化を楽しく学ぶ科」と言います。日常身の周りの自然観察を通じて、自然の不思議さに驚き、自然をありのままに学び、なぜそうなるのか自分の五感で確かめ考えてみようという趣旨です。

成果発表で、私はテーマに南方熊楠を取り上げ発表しました。今年度の授業の中で一番感銘を受けショックを受けたのが、この南方熊楠でした。

私はこのコロナ禍の中、一年以上も近所を散策し、公園や歩道、お寺や神社などの樹木や草花に触れてきました。以前は、ただ単にきれいだなとしか感じませんでしたが、近ごろは樹木の種類も覚え、四季の移り変わりに合わせて花や葉っぱの変化が楽しみになっています。

さて南方熊楠ですが、この人物は戦前の和歌山に生まれ、世界のあらゆる現象に好奇心を向けた博物学者でした。特に細菌の研究が有名ですが、一方で貴重な自然の残る離島や鎮守の森などの保全を強く訴えました。

私が一番興味を持ったのは「南方曼荼羅」でした。

曼荼羅というのは、仏教の用語で世界の仕組みを描いた図です。

自然界の中で「世界に不要なものなし」という言葉が私には気になりました。ちょっと強引かもしれませんが、私は今話題の新型コロナウイルスももしかしたら生物全体にとって何か意味のある、出てくるべくしてでてきた生き物かもしれないと思います。

この厄介なウイルスも、もしこのウイルスだけを標的として封じ込めたら生物全体のバランスはどうなるのでしょうか。

勿論コロナ禍は一刻も早く収束してほしいのですが、同時にコロナウイルスと他の生き物とのつながりや役割について、もっと研究していく必要があるのではないかと思います。

東京五輪は経済・観光優先の浮かれた絶頂期の日本で開催の予定でしたが、今、目を向けなくてはならないのは生物界を脅かす地道な世界の環境問題ではと考えます。

南方熊楠のエコロジー、自然環境の保全を訴える活動をもっと知りたいと思っています。

「大阪府高齢者大学」文章講座卒業生でつくる「鶴島学校」の小野田耕士さんの作品です。講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

# LIPが選ぶ 今月の五行歌

小説を まゆみ

読みふけっている

現実世界など

一切

気にもとめずに

季節が来れば 桑本明枝

花は咲くのだなあ

新型コロナで

世界が変わって2年目

ツツジとハナミズキが今とてもきれい

まつすぐはムリ さなぎ

低い太陽なら

曲がつて

伸びてく

草 なんだな

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度メセナひらかた会館にて歌会を行っています。(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com または 090-5893-5635・豊高)

No.2

## なんちゃって農業女子(笑)

さて、第2回目のおはなしは……(笑)

締め切りギリギリまで忙しくて(3月4月は夏野菜の準備に大わらわ)編集部のみなさんをドキドキさせてしまいました。スイマセン

夏野菜といえば……トマトやキュウリやナスやピーマン。これらの実がなる野菜のことを「果菜類」と呼びます。果菜類で比較的育てやすく、プランターでも栽培が簡単なのは「ミニトマト」です。

種から育てるのは大変ですが、ホームセンターの園芸店などに「苗」が売られていますのでそれを購入されると育苗の手間と時間が短縮できます。ぜひ今年の夏は、おうちでミニトマト栽培にチャレンジしてみてください。

私もかつて大失敗したのですが、野菜を育てる時は、一般的なプランターよりも少し深めのプランターを使われることをお勧めいたします。もし、花用の浅めのプランターで夏野菜を育ててみようと思われる場合は、1つのプランターに「苗一つ」で栽培して下さ

い。

実をつける野菜は、縦にどんどん伸びます。



縦に伸びる分、根っ子も地下にどんどん伸びます。「のびのびと根が生える環境」が大切です。以前の私は、つい欲張って、1つのプランターに三つ苗を植え付けて窮屈に育ててヒョロヒョロのトマトを栽培し、実もつけずに枯らしましたので……(涙)

スペースはないけど何か育ててみたい……って方には、「いちご」がおすすすめ。今が旬!

日当たりのよい場所なら室内でも十分育ちます。何より自分で育てた「完熟いちご」美味しいです。ポイントは幾つかありますが、花が咲き始めたら、伸びてくる地面に這う茎(ランナーと言います)は摘み取って下さい。弦の先に新しい苗が出来ま

すので、そちらに栄養が行くと実が付きません。それから、枯れた葉や小さい蕾はコマメに摘み取る。病気の原因になるので。ではレッツトライ!

(文・写真 へそくん)

## イベント・サークル・ボランティア情報

## 心理カウンセラー養成講座

～講座体験&amp;説明会～

◆内容: 対人関係など心理学を中心とした心の働きを学習します。

◆日時: 5月17日(月) 10:30~12:00

5月24日(月) 10:30~12:00

◆場所: ラポールひらかた

◆参加費: 無料

◆定員: 15名

申込・問合先: NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140

メール jim@npk-ksc.net

http://www.npo-ksc.net

## 5月の知的障害者を普通高校へ北河内定例会のご案内

新しい学校に入学されたり、進級したり、社会の一員になったり、春は喜びに満ちた季節ですね。そんな中、新しい課題も出てきているかもしれませんね。また、今年度や来年度などこれから高校進学をどうしようかと思案のご家庭もあると思います。情報を求めたり、思いを出し合って、一緒に考えませんか。色々な体験をされた先輩の親御さんたちの話を聞く機会もあるかな～と思います。

◆日時: 5月23日(日) 午後1:30~5:00

◆場所: 交野市ゆうゆうセンター 3階 研修室

交野市天野が原 5-5-1

Tel 072-893-6400

JR 河内盤船駅から徒歩約3分 京阪河内森駅から徒歩約7分

できるだけ公共交通機関でお越しくださいとの事です。

◆ZOOM参加も並行して行います。

◆内容: ① 入学・進級して子どもたちは・・・。

② 高校を卒業して、今は・・・。

③ 今年度の高校進学、今後の高校進学について・・・。

④ 「医療的ケア」の要る子ども達の学校生活、今の暮らし。

⑤ なんでも自由に～。

◆ZOOM参加の方は、松森:090-1960-3469にお伝えください。または:matumori@crux.ocn.ne.jp

◆参加費: 1家族、100円

◆連絡先: 関山:090-2599-6162

松森:090-1960-3469

◆主催: 知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

## 【枚方自閉症児(者)親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか? 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

◆日時: 5月17日(月) 10時半～

◆場所: ラポールひらかた

※連絡先 松崎 072-845-3014 春名 072-397-0053

【参加者募集】 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」  
情報交換・交流会

子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。

そんな思いで集っています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。

◆日時: 5月21日(金) 13時~15時

(遅刻早退OK、出入り自由)

(緊急事態宣言で延期になった4月の情報交換・交流会の振替として行います。)

◆場所: ラポールひらかた4階研修室4

◆参加費: 無料

◆問合せ: c-k@love-dugong.net または、  
090-5893-5635 (16時以降 豊高)

下記ブログにて、随時情報を掲載しています。

<http://ameblo.jp/challengekids81573/>

('チャレンジ・キッズ' 'アメブロ' で検索してください)



● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●

応援ありがとうございます♪

# LIP応援団

ポールムーンさん



## LIP会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
27,082	前号から繰り越し
1,000	応援団寄付
14,000	広告代
▼910	郵送代
▼3,000	市民活動支援センター年会費
▼515	封筒代
▼4,320	4月号印刷代
33,337	計 (次号へ繰り越し)

■3度目の緊急事態宣言となりましたが、みなさんお元気でしょうか。巣ごもりしすぎて運動不足にならないように近所の散歩にはげんでいます。

自宅時間の楽しみもいろいろあって、コーヒー豆の自家焙煎をやっていますが、室内でコーヒーの木も育てています。自家栽培豆の自家焙煎をしたら完全自家製コーヒーと言えるかなと(^^; 現在3年目で樹高40cmくらいになってます。早く花が咲かないかなーと心待ちにしていますが、なかなかです。

(w)



■LIPは、市民が書き、市民が読む地域密着型新聞紙です。あなたも紙面に登場してみませんか♪

## 求人～正規職員・パート募集

■ 職種：生活支援員(パートは月に2回～応相談)

- ① 7:00～16:00 (休憩60分)
- ② 13:00～22:00 (休憩60分)
- ③ 夜勤 15:00～9:00 (休憩240分) シフト制

※詳細はホームページをご覧ください。

★ 京阪枚方公園駅徒歩10分 (枚方市上之町)

★ 問合せ ショートステイ みつきい

TEL 090-9167-7187 HP <https://tayuragi.com/>

コミュニティ カフェ  
**ラ テール**  
美味しい紅茶と珈琲の店



枚方市西禁野 1-3-27 京阪バス禁野口バス停前  
(アカカベ向かい) TEL:072-848-0418

[http://www.eonet.ne.jp/~la\\_terre](http://www.eonet.ne.jp/~la_terre)

イラスト 表紙/P. 7/裏表紙：平井由恵

「枚方市民にだけ」  
読んでほしい情報サイト  
枚方つーしん 検索